

東大野球部

New!

メールマガジン

Vol.82

いあいさつ

朝夕はめっきり冷え込むようになってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今秋のリーグ戦も早いもので、残すところ立教戦のみとなってしまいました。法政戦では序盤の投手陣の粘りに打者が応えられず、両試合ともに完封負けという大変悔しい結果に終わってしまいました。最終カードに向けて練習に励み、気持ちを新たに立教戦に臨みたいと思います。

今後とも温かいご声援の程、よろしくお願い申し上げます。

今後の予定

〈東京六大学野球 秋季リーグ戦・新人戦〉

10月26日 明大 11:00 法大 東大 13:30 立大

27日 立大 11:00 東大 法大 13:30 明大

11月 2日 慶大 13:00 早大

3日 早大 13:00 慶大

早慶戦翌日より3日間 秋季新人戦



僕の野球人生⑦

いよいよラストシーズンを迎える4年生にこれまでの野球人生を振り返ってもらおう企画。最終回は黒沢主将、田中主務を特集いたしました。

黒沢 俊哉（4年・主将・内野手・渋谷幕張）

僕が硬式野球を始めたのは高校に入ってからで、当時はピッチャーをしていました。しかし大学に入学するとすぐに肩を痛めてしまい、野手に転向することになりましたが、それまでバッティングのことを深く考えたことがなかった僕は、どうしたらバットを速く振れるのか、正確にミートできるのか全くわかりませんでした。

そんな素人同然の僕に東大の谷沢コーチはバッティングのことを、基礎の基礎から丁寧に、そして真剣に教えてくださいました。今になってバッティングとはなにかをほんの少しわかった気がします。本当に感謝してもしきれません。

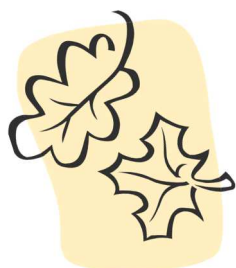
なんとか感謝の意を示すべく努力してきたつもりですが、ここまで個人としてもチームとしても、結果を残すことができずに悔しくて情けない思いでいっぱいです。しかしこのままで終わるわけにはいきません。



応援してくださる方々、そしてお世話になったたくさんの人に恩返しするためにも、立教戦は本当に最後のチャンスです。最終学年の意地を見せ、勝って笑って野球人生を終えたいと思います。

田中 秀明（4年・主務・半田）

野球を始めたきっかけは小学2年生の時、友達に誘われて地元の少年野球チームに入ったことでした。そこからは野球の面白さにのめりこみ、毎日のように近所の友達と小学校の校庭に繰り出してはボールを追いかけていました。あれから約15年、野球中心の生活がもうじき終わると思うとなんだか不思議な気分です。大学でマネージャーに転向して悩んでいた僕を励ましてくださった先輩、部活中心の生活を支えてくれた両親、そして温かい応援をしてくださるファンの方々など、本当に多くの人に支えられてここまで続けてくることができました。感謝しています。これまでお世話になった人たちに、リーグ戦での勝利という形で御恩返しできるよう、最後まで全力を尽くします。



編集後記

今回の特集はいかがでしたか。この企画では4年生の全員に、今までの野球人生を振り返って思うことや、残りの大学野球生活に対する意気込みなどを語ってもらいました。今週末の最終カードでは4年生が最後の意地を見せ、お世話になった方々やいつも応援してくださる方々に勝利という形で恩返しできるよう、最後まであきらめず全力で戦ってまいります。

今週末はぜひ神宮球場に足をお運びください。今後とも東大野球部をよろしくお願い致します！



お問い合わせ先

〒113-0023

東京都文京区向丘1-5-9 一誠寮

TEL & FAX 03 (3811) 5100

メールアドレス office@tokyo-bc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望がございましたら上記連絡先までご連絡下さい。

